



TITLE:

# <巻末資料>実践型地域研究ニューズレター一覧・定例研究会開催一覧

AUTHOR(S):

CITATION:

<巻末資料>実践型地域研究ニューズレター一覧・定例研究会開催一覧.  
実践型地域研究最終報告書: ざいちのち 2012: 278-282

ISSUE DATE:

2012-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/155051>

RIGHT:

## 巻末資料

実践型地域研究ニューズレター 一覧

定例研究会開催 一覧

守山フィールドステーションの活動

朽木フィールドステーションの活動

亀岡フィールドステーションの活動

その他の活動

# 実践型地域研究ニューズレター 一覧

## 実践型地域研究ニューズレター No.1 2008 年 11 月

- ・水野広祐「地域の人々との協働による実践型地域研究の試み」
- ・高谷好一「フィールドステーション守山の近況報告」
- ・嶋田奈穂子「滋賀県の水辺の生活を考える―漁師のフナズシ―」
- ・今北哲也「源流域における「くらしの森」の再生に向けて―水と火のエネルギーを活かした生業基盤づくり―」
- ・河原林洋「『筏』をシンボルとした『人・山・川（都市）』のつながりの再構築―研究の概略とこれまでの動き―」

## 実践型地域研究ニューズレター No.2 2008 年 12 月

- ・是永宙「牛がおしえる山里の暮らしと文化」
- ・原田早苗「ハツエさんからみた筏」
- ・嶋田奈穂子「漁師の論理―外来魚を食べてくれるな―」
- ・高谷好一「野洲川の勉強会はじまる」
- ・安藤和雄「在地の自覚と実践型地域研究」

## 実践型地域研究ニューズレター No.3 2009 年 1 月

- ・大西信弘「亀岡の農業と自然（1）『稲作と自然』」
- ・嶋田奈穂子「『湖魚のナレズシ』漬け込み体験」
- ・増田和也「焼畑でつながる人と人」
- ・矢嶋吉司「JICA の研修員に同行して」

## 実践型地域研究ニューズレター No.4 2009 年 2 月

- ・藤井美穂「野洲川と生きる―青竹の排水管による水利用―」
- ・今北哲也「『くらしの森』の一步―火入れの前―」
- ・河原林洋「保津川筏流しの聞き取りレポート①」
- ・鈴木玲治「農山村の未来をどう描くのか？」

## 実践型地域研究ニューズレター No.5 2009 年 3 月

- ・増田和也「ホトラとベーラ：土地に根ざした野山の名前」
- ・原田禎夫「舟運文化が守る川」
- ・嶋田奈穂子「“湖魚のナレズシ”桶開き」
- ・高谷好一「中山道守山宿の歴史文化シンポジウム」
- ・矢嶋吉司「ラオス出張報告」

## ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.6 2009 年 4 月

- ・原田早苗「『したたかさ』というレジティマシー（1）」
- ・高谷好一「守山活性化フォーラムの報告」
- ・増田和也「溪流発電装置の試験稼働―『水のエネルギー』を活かした生業づくりに向けて―」
- ・安藤和雄「日本の農村、農業、漁業の存在をアジアに発信する意義―3 月 5・7 日のエクスカーションの報告―」

## ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.7 2009 年 5 月

- ・嶋田奈穂子「守山フィールドステーションへようこそ！“梅田町ホテル通り”」
- ・島上宗子「朽木 FS、春の便り」
- ・大西信弘「亀岡の農業と自然（2）『保津川の湧水』」
- ・アミ・アミナ・ムティア「環境サステナビリティのためのローカル・ノレッジを用いた琵琶湖の漁業を見学しました」

## ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.8 2009 年 6 月

- ・黒田末寿「余呉町で焼畑の山開き」
- ・河原林洋「保津川筏聞き取りノート②―筏の構造②―」
- ・藤井美穂「野洲川の新河川建設：放水路」
- ・鈴木玲治「里山の保全―誰のために何を守るのか？―」

## ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.9 2009 年 7 月

- ・原田早苗「『したたかさ』というレジティマシー（2）」
- ・嶋田奈穂子「ブラックバスの子離れ」
- ・増田和也「カヤダイラ復元の道程」
- ・安藤和雄「百姓仕事という実践の楽しみ」

## ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.10 2009 年 8 月

- ・高谷好一「古絵図による勉強会を始めました」
- ・嶋田奈穂子「『琵琶湖在来魚のナレズシ』漬け込み体験」

- ・増田和也「森を拓けば」
- ・原田禎夫「あかりがつかないだ、村と川の記憶」
- ・矢嶋吉司「ラオス出張報告 2」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.11 2009 年 9 月**

- ・増田和也「焼畑に寄せるそれぞれの思い」
- ・河原林洋「保津川筏聞き取りノート③—筏の構造③—」
- ・藤井美穂「A さんとの出会い—在所の方から学ぶ野洲川流域調査—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.12 2009 年 10 月**

- ・河原林洋「筏がつなぐ『人』『もの』『ちいき』」
- ・嶋田奈穂子「『琵琶湖に生きる』漁師のはなし—京都大学総合博物館にて—」
- ・黒田末寿「今年の牛耕は代かき」
- ・鈴木玲治「余呉町の焼畑—ミャンマーの焼畑との比較から—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.13 2009 年 11 月**

- ・藤井美穂「記憶に残る場所—水害に関する史跡—」
- ・増田和也「ヤマグワを活かす」
- ・高橋藍子「亀岡の農業と自然 (3)『亀岡市の水田と鳥類』」
- ・安藤和雄「杉が植えられた水田にて」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.14 2009 年 12 月**

- ・増田和也「棕川の手づくり収穫祭」
- ・原田早苗「『したたかさ』というレジティマシー (3)：レジティマシーを保証する公的主体」
- ・嶋田奈穂子「中心市街地でソバ栽培？—都市農園の試み—」
- ・鈴木玲治「焼畑の再考と再興」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.15 2010 年 1 月**

- ・原田禎夫「水運文化の伝承からまちづくりへ—着地型観光という可能性 (1) —」
- ・嶋田奈穂子「中心市街地でソバ栽培 2—都市農園の試み—」
- ・黒田末寿「山の生産力、人こそ生存基盤 (1)」
- ・安藤和雄「耕地径管の落着きとは—Khin Oo さんのコメントから考える」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.16 2010 年 2 月**

- ・嶋田奈穂子「中心市街地でソバ栽培 3—都市農園の試み—」
- ・是永宙「どんぐり苗“奮戦”記—棕川から—」
- ・豊田知八「バングラデシュ水運の観光事業化の可能性を探る」
- ・矢嶋吉司「ラオス活動報告 3—タチャンパ村文化資料館建設—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.17 2010 年 3 月**

- ・黒田末寿「山の生産力、人こそ生存基盤 (2)」
- ・河原林洋「牛糞と流木からみる自然と人間の折り合い—バングラデシュで考えたこと—」
- ・藤井美穂「開発 (かいほつ) 集落の暮らし (1) —旧野洲川堤防の竹藪—」
- ・鈴木玲治「中間成果報告会—2 年間の活動を振り返って—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.18 2010 年 4 月**

- ・豊田知八「愛宕参道の宿場まち・清滝の隆盛と衰退、そして現状を聞く」
- ・高谷好一「自分の田んぼはどうなる？」
- ・嶋田奈穂子「数字やデータがもつ力を活かす」
- ・藤井美穂「在所に生きる人々の生活を見つめ直す」
- ・是永宙・島上宗子「棕川」
- ・今北哲也「針畑」
- ・増田和也「余呉」
- ・安藤和雄「日本の市町村の防災・減災の取組はアジアの発展途上国のお手本」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.19 2010 年 5 月**

- ・藤井美穂「『どっこいしょ』—旧野洲川伏流水の利用—」
- ・黒田末寿「冷夏での焼畑」
- ・河原林洋「保津川筏聞き取りノート④—筏の構造④—」
- ・大石高典「換金作物栽培と森の生活の両立は可能か—甘いチョココレートがもたらす不平等—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No.20 2010 年 6 月**

- ・今北哲也「『くらしの森』からみるバイオ炭」
- ・原田禎夫「水運文化の伝承からまちづくりへ—着地型観光という可能性 (2) —」
- ・嶋田奈穂子「中心市街地でソバづくり 2010」
- ・矢嶋吉司「晩生の稲栽培は大きな賭けか—バングラデシュのハオールの稲づくり—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 21 2010 年 7 月**

- ・佐藤庸平「日本初のキノア産地化に取り組む高校生の挑戦！」
- ・嶋田奈穂子「琵琶湖 エリ漁にて」
- ・黒田末寿「今夏は余呉町中河内と赤子山で焼畑」
- ・安藤和雄「アジアの農村開発の現状と連続文化財講座『アジアの中の亀岡 II』の意義」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 22 2010 年 8 月**

- ・嶋田奈穂子「ソバにかける未来—東南アジアにおけるソバ活用—」
- ・今北哲也「これまでの火入れ、これからの火入れ」
- ・原田禎夫「筏がつなぐまち—保津川筏復活プロジェクトの意義を考える①—」
- ・鈴木玲治「中山間地域活性化に向けた弥栄町の取り組み」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 23 2010 年 9 月**

- ・今北哲也「余呉・中河内 2010」
- ・河原林洋「『まともな人間のする仕事とちやう』—京北最後の筏師①—」
- ・近藤紀章「『メガネとしての国見、漸近線としての故郷』
- ・矢嶋吉司「ラオス活動報告 4 集落文化資料館の完成式」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 24 2010 年 10 月**

- ・豊田知八「愛宕千日詣りでにぎわう清滝にみる再生への潜在力」
- ・松永之和「『守山宿だるまそばの会』
- ・増田和也「むらの方からの提案—余呉・摺墨での試み—」
- ・アミ・A・ムティア「水利用のローカル・ノレッジ—かばたとパンチュラン、どこが違うのか？—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 25 2010 年 11 月**

- ・高谷好一「地域学シンポジウム」
- ・島上宗子「蕪（カブ）の豊かさ」
- ・河原林洋「保津川筏復活プロジェクト 2010」
- ・中村均司「『棚田と海の村』から—京都府京丹後市袖志地区—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 26 2010 年 12 月**

- ・黒田末寿「『焼畑は重労働』だろうか？」
- ・原田禎夫「筏がつなぐまち—保津川筏復活プロジェクトの意義を考える②—」
- ・藤井美穂「『ウルリンつかみ』とおすそ分け」
- ・福島万紀「人も自然も元気な山村を目指して—島根県浜田市弥栄町における取り組み—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 27 2011 年 1 月**

- ・河原林洋「杣人たち—京北町と保津町の林業従事者を訪ねて—」
- ・藤井美穂「取り池と池仲間」
- ・今北哲也「山野の火入れを平場に生かす—ハタケとネコブ（その 1）—」
- ・矢嶋吉司「ラオス活動報告 5—タチャンパ村ワークショップ—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 28 2011 年 2 月**

- ・高谷好一「つつましく、風土に寄り添って」
- ・黒田末寿「焼畑とボッタまきと農耕神話」
- ・大西信弘・鷲尾朱音・三宅慧「亀岡の農業と自然—保津川の湧水が育む自然—」
- ・安藤和雄「『文化と歴史そして生態を重視したもう一つの草の根の農村開発に関する国際会議』開催報告」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 29 2011 年 3 月**

- ・増田和也「在所をまとめるもの」
- ・河原林洋「カン筏はどこからきたのか—筏流しを通じた保津の筏士衆の生存基盤—」
- ・近藤紀章「地域づくりフォーラムを終えて」
- ・鈴木玲治「里川里湖のまちづくり—守山市美崎町における自治会・行政・地元高校・大学の協働—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 30 2011 年 4 月**

- ・豊田知八「清滝川水運の足跡を求めて」
- ・嶋田奈穂子「ナレズシの本当の味は？」
- ・今北哲也「山野の火入れを平場に活かす—ハタケとネコブ—（その 2）」
- ・安藤和雄「アジアの開発途上国に学ぶ計画停電の積極的活用のすすめ」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 31 2011 年 5 月**

- ・藤井美穂「農具 1：百姓の道具は生活の基」
- ・島上宗子「"pseudo clean"、"pseudo cheap"」
- ・河原林洋「京北町の基林業従事者の聞き取りレポート①」
- ・中村均司「『命の尊さ』でつながる—京都府京丹後市で猪・鹿の供養祭—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 32 2011 年 6 月**

- ・黒田末寿「余呉鷺見の焼畑 (1)」
- ・原田禎夫「筏がつなぐまち～保津川筏復活プロジェクトの意義を考える③」
- ・嶋田奈穂子「祭りにみるナレズシ」
- ・アミ・A・ムティア「田んぼを守る理由」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 33 2011 年 7 月**

- ・大西信弘「土地に暮らすということ—今、福島について考える—」
- ・藤井美穂「開発村落の水車 (ミズグルマ)」
- ・黒田末寿「余呉鷺見の焼畑 (2)」
- ・矢嶋吉司「ラオス活動報告 6—農学部学生ボランティア・カシコンアサー」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 34 2011 年 8 月**

- ・嶋田奈穂子「フィールドとフィールドがつながるとき—ベンチがつなぐ、山とまち・人と人—」
- ・黒田末寿「災害からの復興と焼畑」
- ・豊田知八「清滝の潜在力を求めて—三高生逍遙の宿・清滝ますや旅館の当主に聞く—」
- ・安藤和雄「アジア国際チーム相互啓発農村開発実践研究」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 35 2011 年 9 月**

- ・増田和也「夏の火、春の火：火をめぐるわきまえ」
- ・河原林洋「保津川 (桂川) の源流を訪ねて」
- ・藤井美穂「機械化以前のコメ作り：田ごしらえ」
- ・中村均司「『むら』の幸せってなんかねえ？—『文化と歴史そして生態を重視したもう一つの草の根の農村開発に関する国際会議』開催報告—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 36 2011 年 10 月**

- ・原田禎夫「筏がつなぐまち～保津川筏復活プロジェクトの意義を考える④」
- ・嶋田奈穂子「フィールドとフィールドがつながるとき 2—山のことを、ベンチで伝えて—」
- ・今北哲也「国際交流が進むバイオ炭の世界～APBC KYOTO 2011 第二回アジア太平洋バイオ炭大会に参加して」
- ・アミ・A・ムティア「森を守るローカル・ノレッジ」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 37 2011 年 11 月**

- ・藤井美穂「機械化以前のコメ作り：『種おろし』と田植えの日雇い調達」
- ・増田和也「在所を支える一体性と個人」
- ・大西信弘「亀岡の農業と自然 (5)『クールベジタブル農業体験塾』」
- ・矢嶋吉司「ラオス活動報告 7 タチャンパ村への定住」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 38 2011 年 12 月**

- ・島上宗子「コオロ焼き」
- ・豊田知八「清滝の潜在力を求めて その②—ますや店主の話から—」
- ・嶋田奈穂子「フィールドとフィールドがつながるとき 3—丸太が守山にやってきた」
- ・安藤和雄「地域研究における実践の意義—課題先行的アプローチを手がかりに—」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 39 2012 年 1 月**

- ・河原林洋「保津川筏復活プロジェクト 2011『いかだにのってみよう！in 保津川』」
- ・高谷好一「『守山の家』のこと」
- ・今北哲也「『山の百姓発～渓流水車を訪ねて』」
- ・中村均司「『みんなで守らにゃあ、丹後の棚田』棚田の美しさ、お米の美味しさ、わら細工の温かさ」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 40 2012 年 2 月**

- ・藤井美穂「機械化以前のコメ作り：田植えと草取り」
- ・黒田末寿「自立・分散型の地域づくり」
- ・原田禎夫「筏がつなぐまち～保津川筏復活プロジェクトの意義を考える⑤」
- ・アミ・A・ムティア「マニンジャウ湖のペンシ、琵琶湖の瀬田シジミ」

**ざいちのち 実践型地域研究ニューズレター No. 41 2012 年 3 月**

- ・増田和也「在所におけるつきあい方から教わったこと」
- ・河原林洋「地域の伝統技術の新しい価値を考える」
- ・近藤紀章「『都市の論理、地域の感覚』」
- ・安藤和雄「『在地と都市がつくる循環型社会再生のための実践的地域研究』の成果報告の要旨」

# 定例研究会開催 一覧

第7回(2008年12月)～第44回(2012年3月)

回	日時	場所	発表者氏名	発表内容
7	H20.12.26	守山FS	安藤和雄	絶対肯定の農村研究哲学の提唱:日本の過疎問題に関する読書ノート
8	H21.1.30	守山FS	戸田直弘	漁師納得の外來魚活用ー防災備蓄食料としての缶詰
9	H21.2.27	守山FS	永井耕太郎	湖北・山里の水と生き物と人のかかわり
10	H21.3.25	保津川	上田潔 酒井昭雄 河原林洋	保津川における筏組みの実演、試乗会
11	H21.4.24	守山FS	井上純作	守山活性化フォーラムを終えてー住民がつくる守山ー
12	H21.5.29	小森バイオ研究所	小森清喜	湖西・真野の暮らし今昔
13	H21.6.26	守山FS	河原林洋	保津川筏研究ーモノのつながり、ヒトのつながりー
14	H21.7.31	守山FS	嶋田奈穂子	守山宿だるまそばのプロジェクトー都市農園の可能性ー
15	H21.9.25	守山FS	増田和也	火のエネルギーによる「くらしの森」づくりー進捗報告と今後の展望ー
16	H21.10.30	守山FS	西村明弘	保津川筏復活プロジェクトにおける地域学の可能性ー亀岡学を事例にー
17	H21.11.27	守山FS	Dani Duri Rinchin Tsering	Dirang県の医療と健康 Brokpaの人と社会福祉協会の活動
18	H21.12.25	守山FS	嶋田奈穂子	守山市中心市街地におけるそば栽培とその効果
19	H22.1.29	守山FS	Khin Oo Lay Lay Khaing	Impact of the cyclone Nargis on livelihoods and food security in the selected area of Bogalay, Myanmar Existing Cropping Patterns in Central Myanmar: Case study in Le Pyin Thar Village, Yemethin District, Myanmar
20	H22.2.6	京都学園大学	原田早苗	「したたかさ」というレジティマシー(正統性・正当性)
21	H22.3.6	守山FS	安藤和雄 鈴木玲治	バングラデシュにおける農村開発フィールドスタディの社会的ソフトウェア的分析演習 地域の将来像をどう描くのかー2年間の活動を振り返ってー
22	H22.4.23	守山FS	Saw Pyone Naing	イラワジデルタ・マウービン郡におけるナルギスの爪あとと復興 ー小学校の校舎全壊からの復興を中心にしてー
23	H22.3.26	守山FS	島上宗子	中スラウェシにみる『くらしの森』:焼畑の村、映像記録の試みから
24	H22.5.28	守山FS	藤井美徳	滋賀県山市開発(かいまつ)集落における竹の排水利用と『どっこいしょ』 ー旧野洲川伏流水の利用ー
25	H22.6.25	亀岡市文化資料館	黒川孝宏	地域をつなぐ資料館ー亀岡市文化資料館の取り組み
26	H22.7.13	守山FS	福島万紀	島根県の山村における過疎・高齢化の現状と課題 ー森林資源の活用と管理主体の形成にむけてー
27	H22.9.24	守山FS	今北哲也 鈴木玲治	余呉の火入れと《くらしの森》 焼畑における耕起の意義ー日本と東南アジアの比較からー
28	H22.10.29	守山FS	Tomo RIBA	Shifting cultivation and tribal culture ーA case study of Tribal of Arunachal Pradesh, Indiaー
29	H22.11.26	守山FS	大西信弘	保津町の生き物共生でまちおこし すいたん農園プラン
30	H22.12.27	守山FS	鈴木玲治	行政・自治会・大学の協働による川づくりー守山市大川の事例ー
31	H23.1.28	守山FS	近藤紀章	いくつもの湖北をめざしてー湖北地域における移住・交流のとりくみー
32	H23.2.25	守山FS	アッケル・アリ Oudom Phonekhampheng	バングラデシュにおける村のNGOの新しい農村開発アプローチ:JRDSの活動紹介 ラオスにおける水産業
33	H23.3.31	守山FS	豊田知八	愛宕山麓の小集落・清滝再生への潜在力を求めて
34	H23.4.22	守山FS	今北哲也 黒田末寿 鈴木 玲治	焼畑で「くらしの森」づくりを目指す
35	H23.5.20	守山FS	藤井美徳	百姓の道具は生活のもと、命のもと
36	H23.6.24	京都学園大学	Dr.Khin Oo 安藤和雄	ミャンマーの農業改良普及事業について 生存基盤としての科学:東日本大震災と原発事故から考える
37	H23.7.21	守山FS	Ms. Myint Myat Mr.Yezer Mr.Somphanh PASOUVANG	ミャンマー中央平原における犁先作り農村向上の実態と可能性 ブータンの農村開発 ラオス国立大学農学部における農村開発教育と実践
38	H23.9.30	守山FS	朽木FS担当	
39	H23.10.28	守山FS	安藤和雄	里川里湖のまちづくり 大川活用プロジェクト
40	H23.11.28	守山FS		最終報告書草稿の発表および検討
41	H23.12.27	東南アジア研究所		最終報告書草稿の発表および検討
42	H24.1.27	守山FS		最終報告書草稿の発表および検討
43	H24.2.24	守山FS		最終報告書草稿の発表および検討
44	H24.3.30	守山FS		京滋FS事業のまとめと今後の活動について